

A world map with a light green background and black outlines of continents and countries. The map is centered on the Atlantic Ocean.

Weekly Market Monitor

---主要コモディティ・金利編---

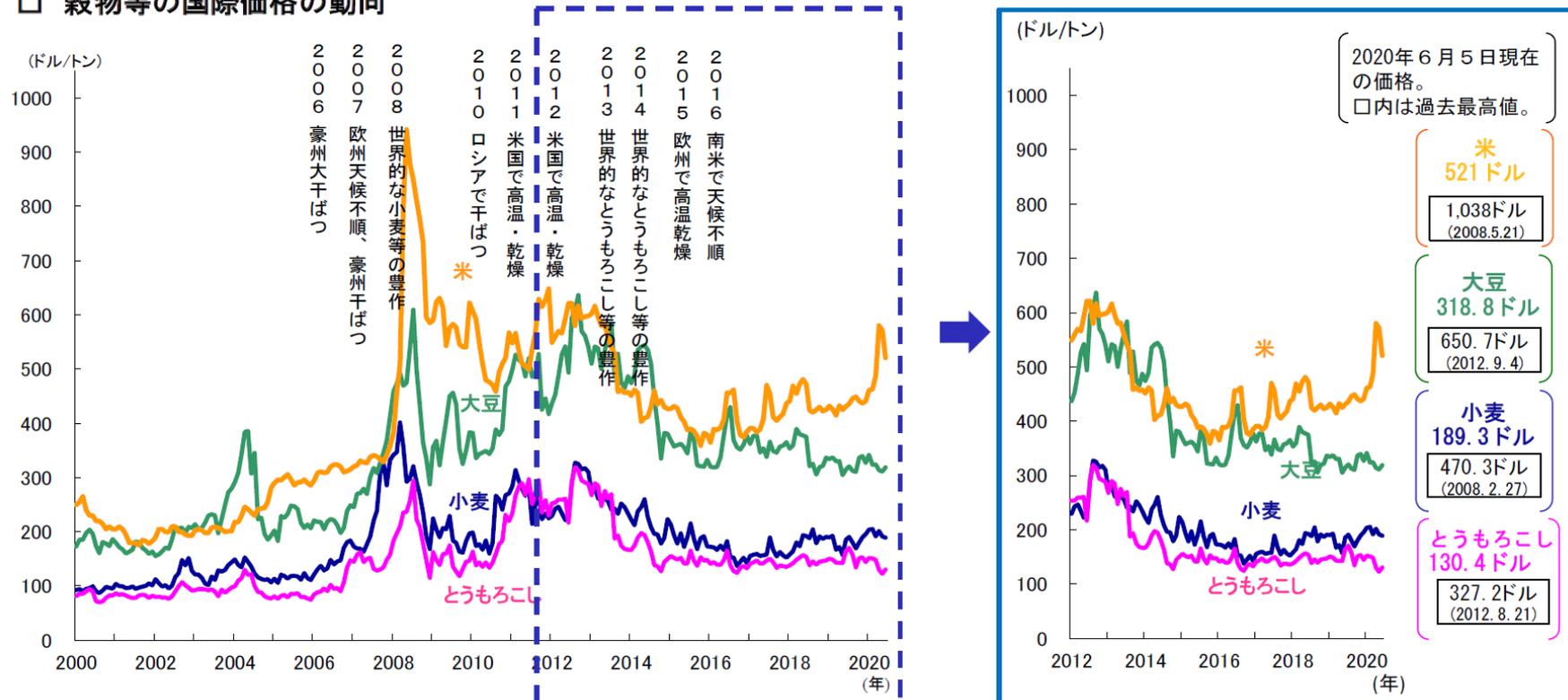
2020年7月3日データ迄収録

穀物価格は豊作で価格安定

穀物等の国際価格の動向 (ドル/トン)

- とうもろこし、大豆が史上最高値を記録した2012年以降、世界的な小麦やとうもろこし、大豆の豊作等から穀物等価格は低下。2017年以降ほぼ横ばいで推移。米は、2013年以降タイの在庫放出等から低下したが、2020年ベトナムの輸出枠の設定等により3月末から上昇した。4月末のベトナムの輸出枠の解除等で下落したものの、依然として高止まり。
- なお、穀物等価格は、新興国の畜産物消費の増加を背景とした堅調な需要やエネルギー向け需要により2008年以前を上回る水準で推移している。

□ 穀物等の国際価格の動向

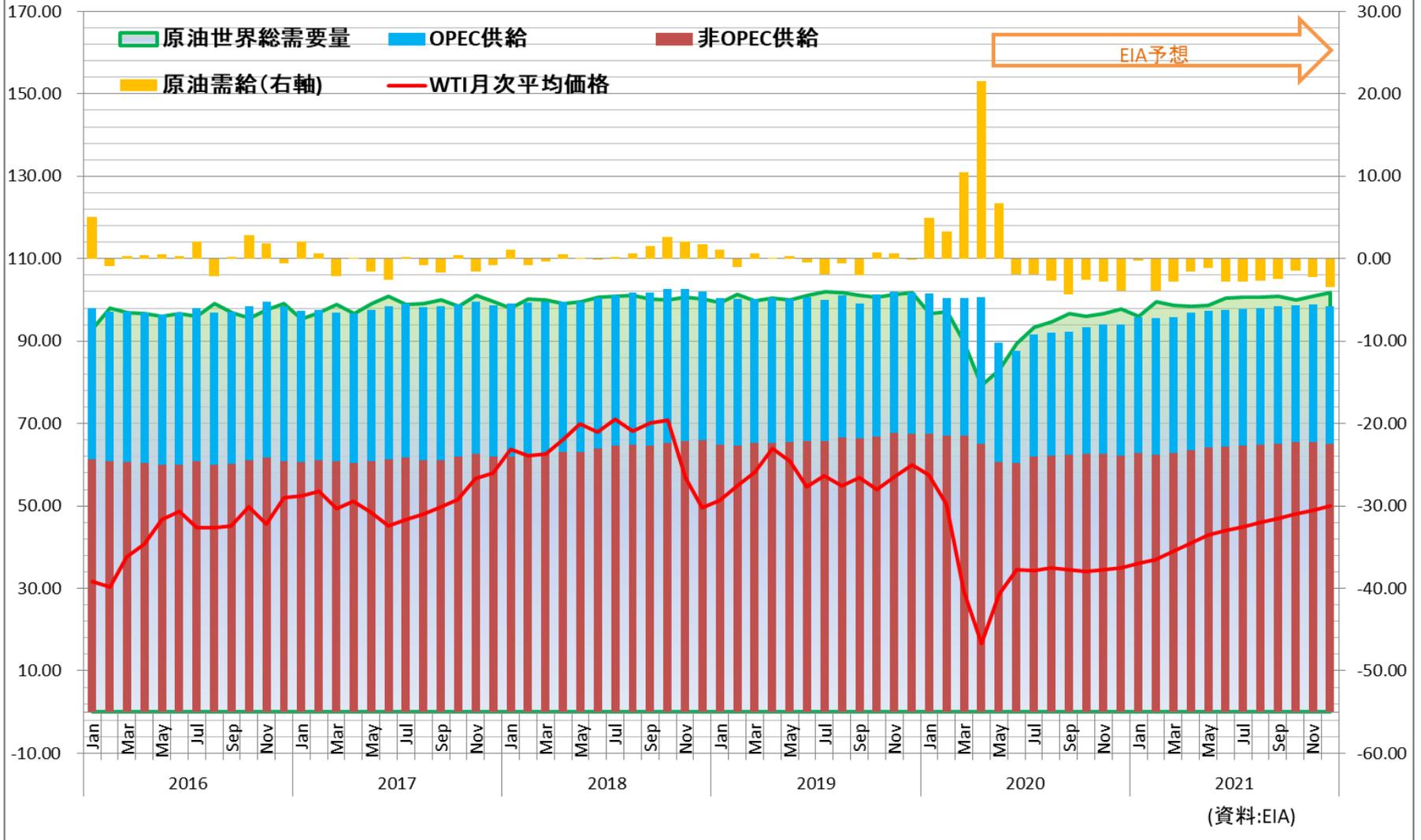


注1：小麦、とうもろこし、大豆は、シカゴ商品取引所の各月第1金曜日の期近終値の価格(セツルメント)である。米は、タイ国家貿易取引委員会公表による各月第1水曜日のタイうるち精米100%2等のFOB価格である。

注2：過去最高価格については、米はタイ国家貿易取引委員会の公表する価格の最高価格、米以外はシカゴ商品取引所の全ての取引日における期近終値の最高価格。

原油の生産は大幅余剰から徐々にバランス

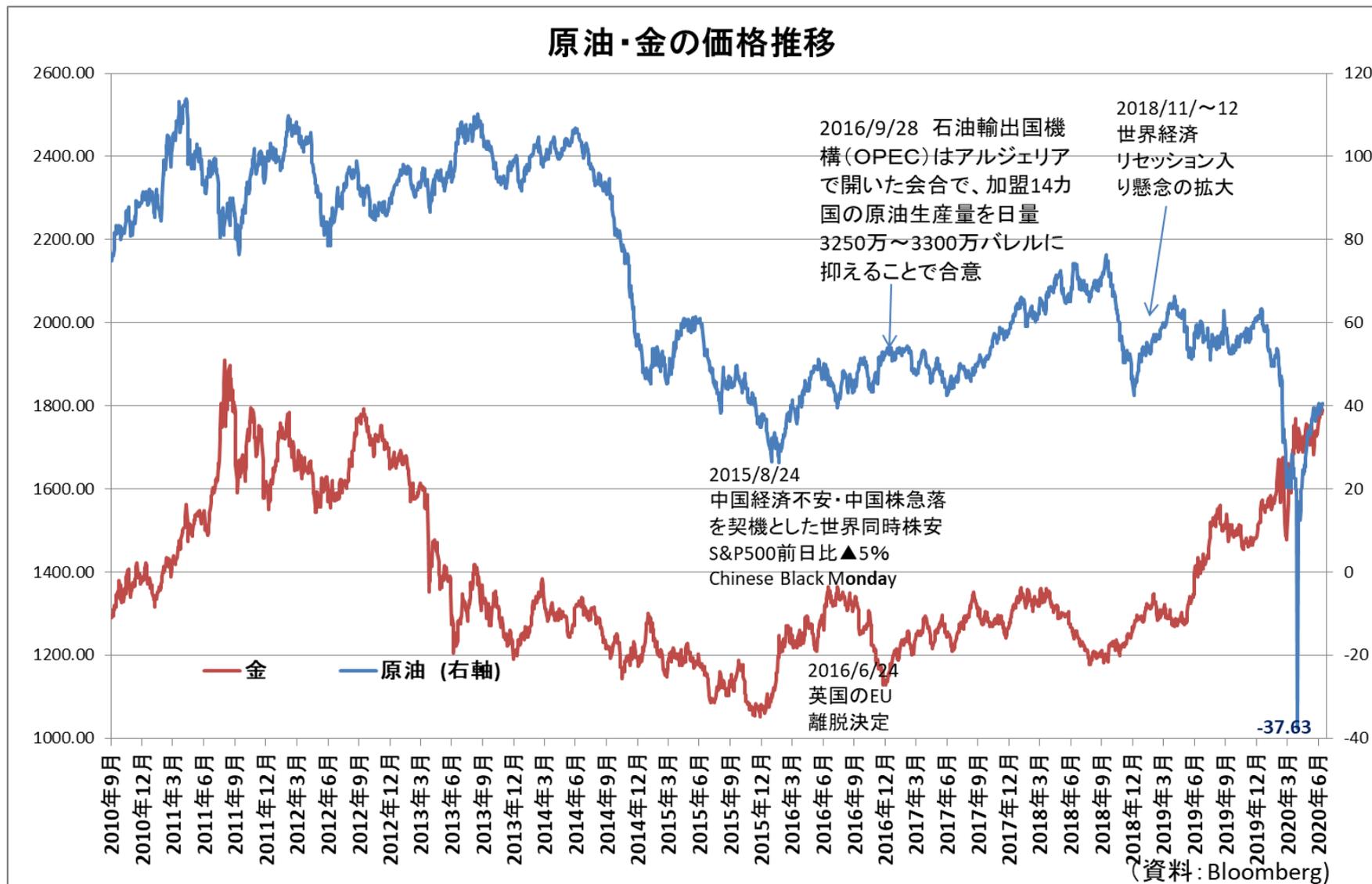
世界の原油需給



WTIは日中一時大幅マイナス記録後、大幅な戻りに

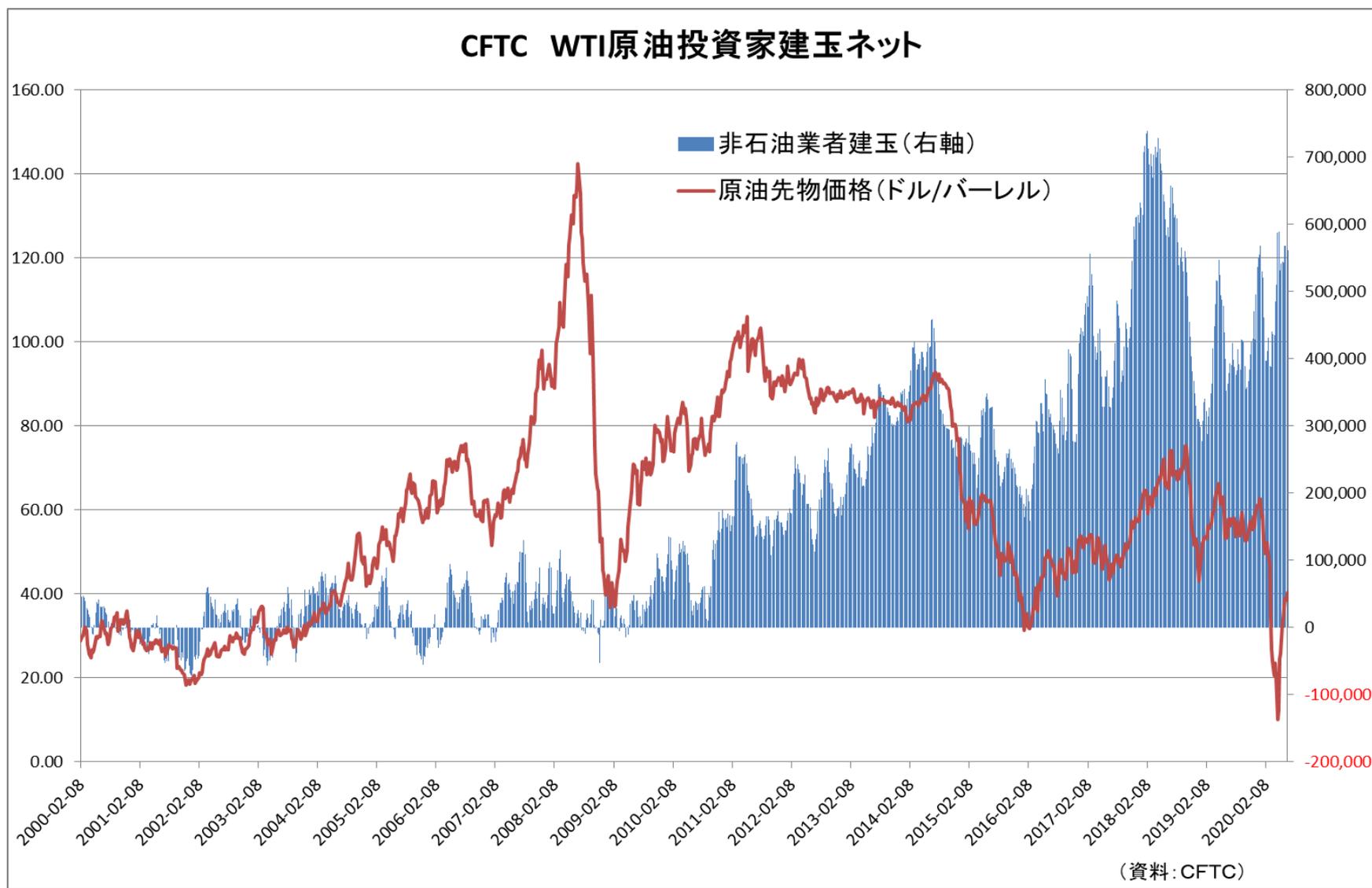
---基調は供給過剰---

原油・金の価格推移



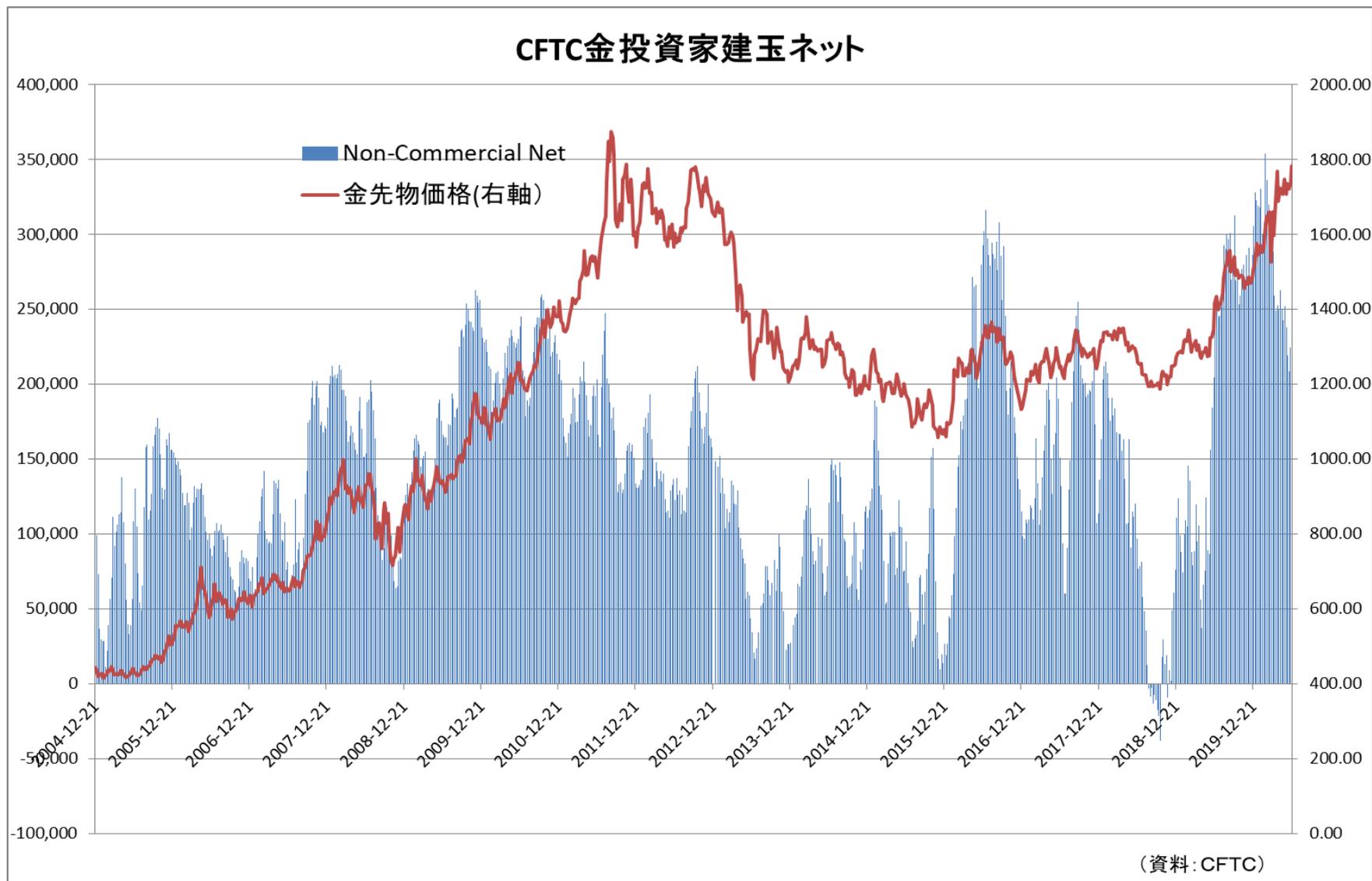
世界の投資家の原油先物ポジション

---新型コロナウイルス懸念での買建玉減少も限定的---



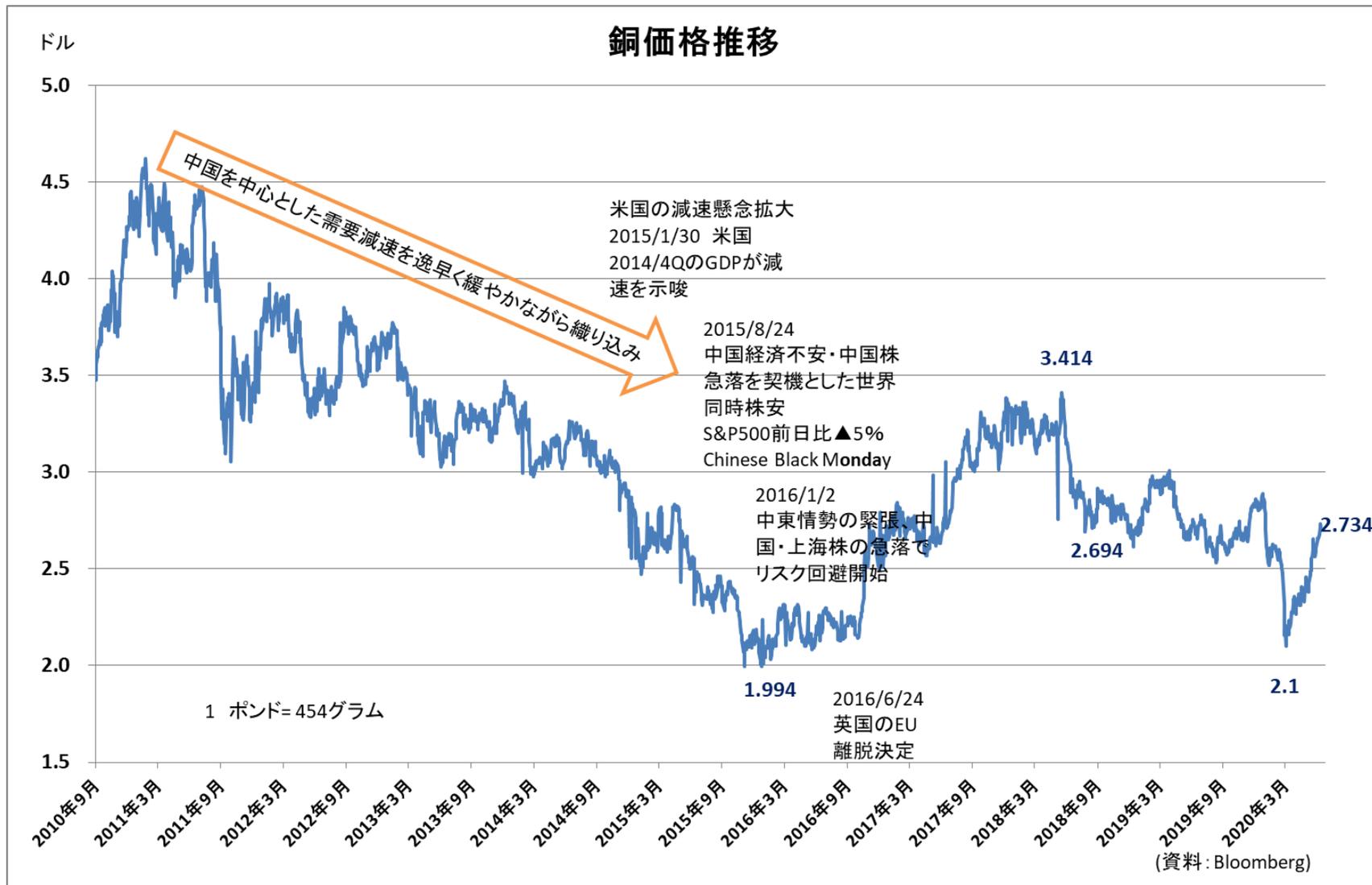
世界の投資家の金先物ポジション

---新型ウィルス懸念でロング再増加も当面でのピーク感---



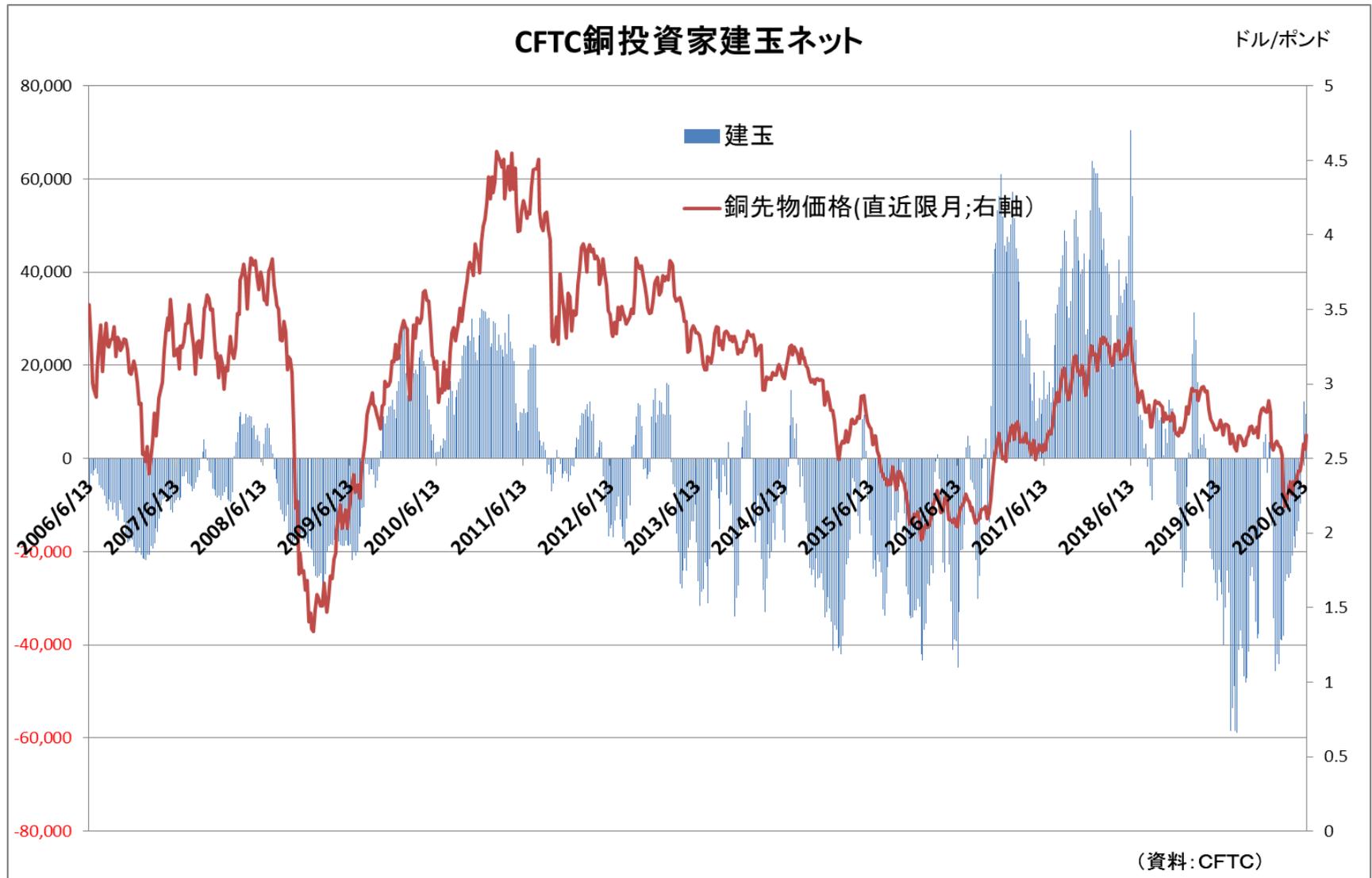
新型ウイルスで価格下落も現状2.6ドル台に復帰

---2.7ドル回復で中国経済の回復を裏付け---



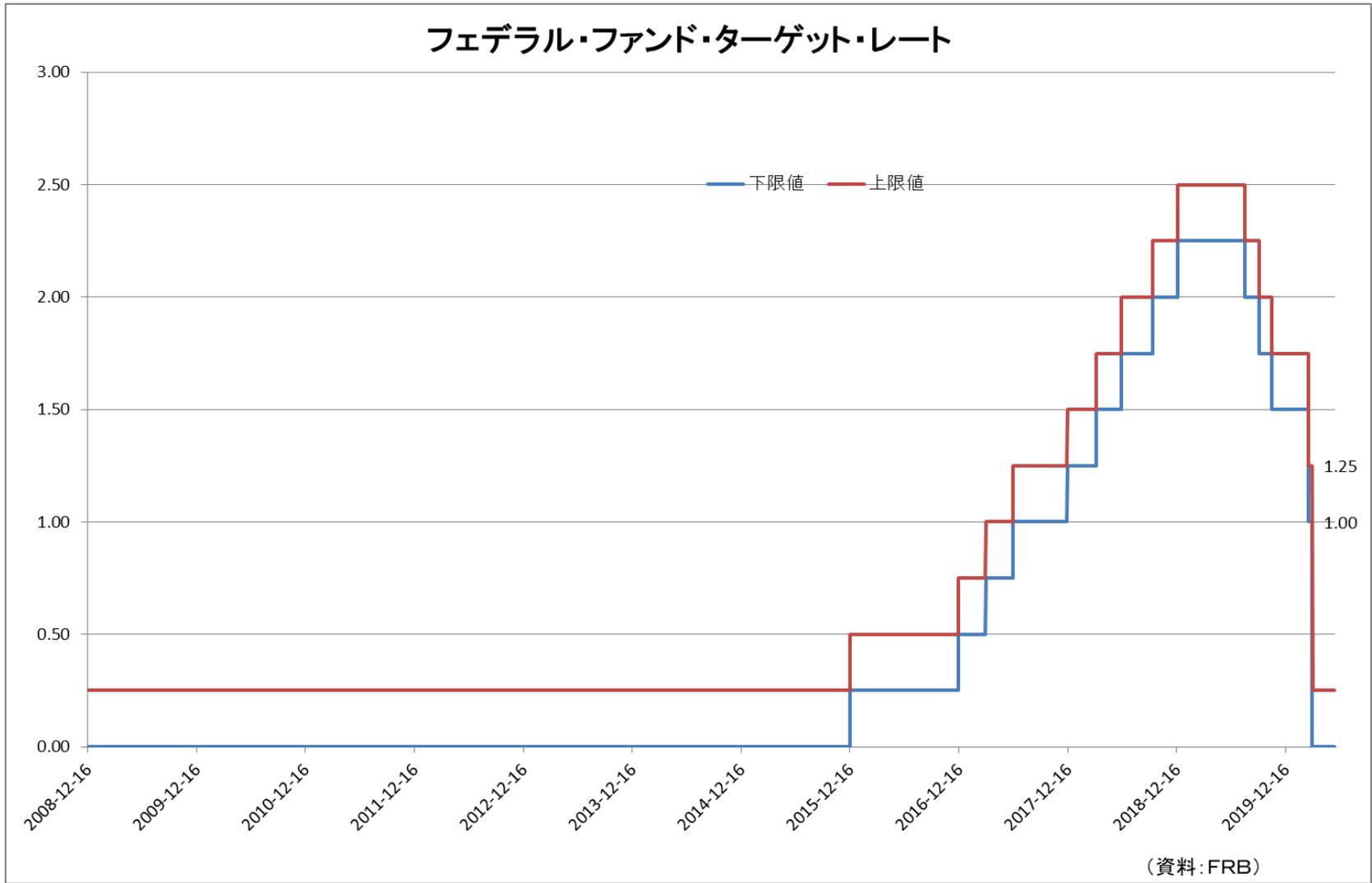
世界経済鈍化懸念で価格下落後価格回復

---中国に於けるウィルス懸念で売建玉急増後、経済活動再開で買建超に---



金利動向

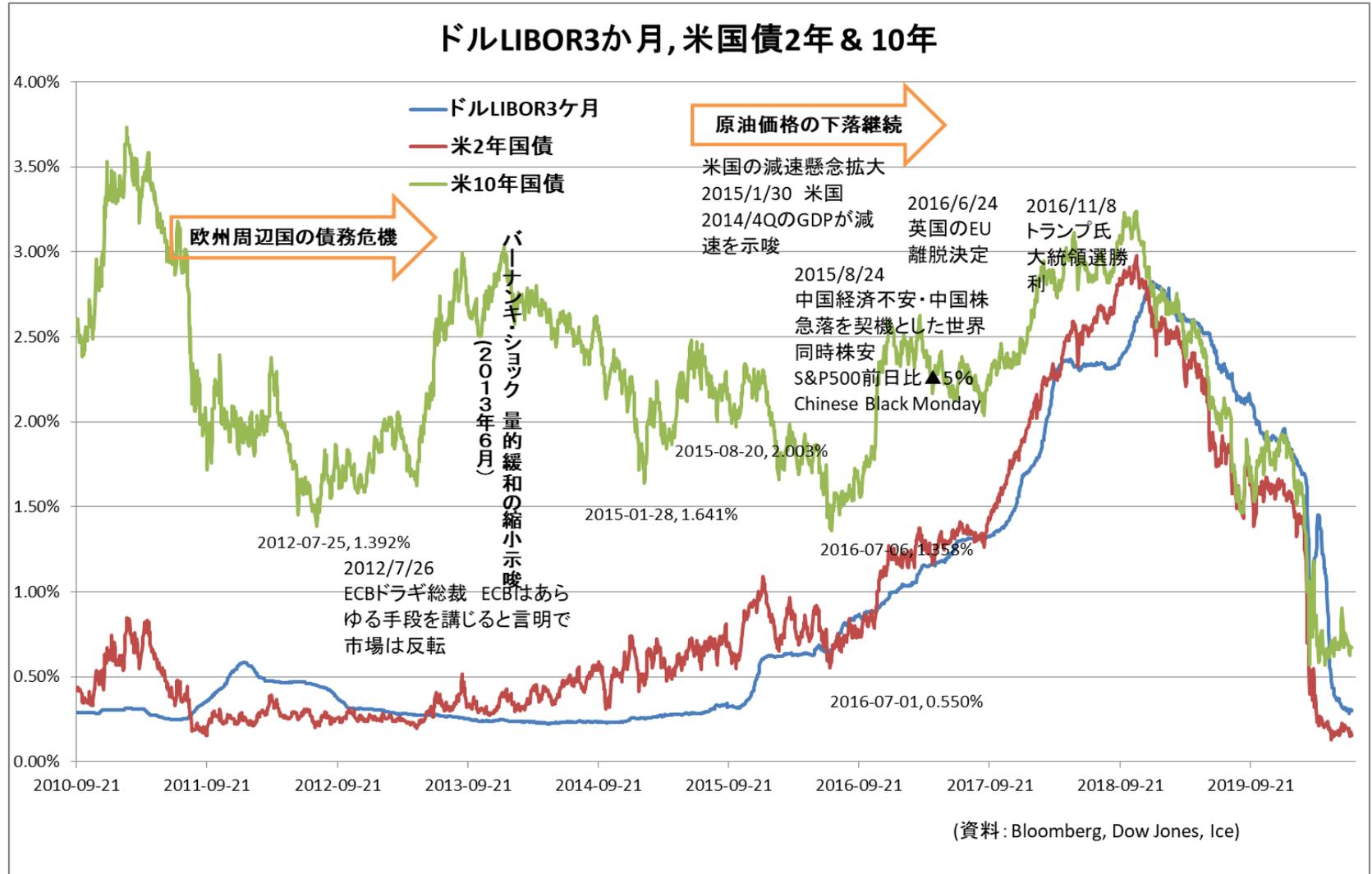
---ウィルス要因でドル金利急低下=ゼロ金利政策へ---



(資料: Bloomberg)

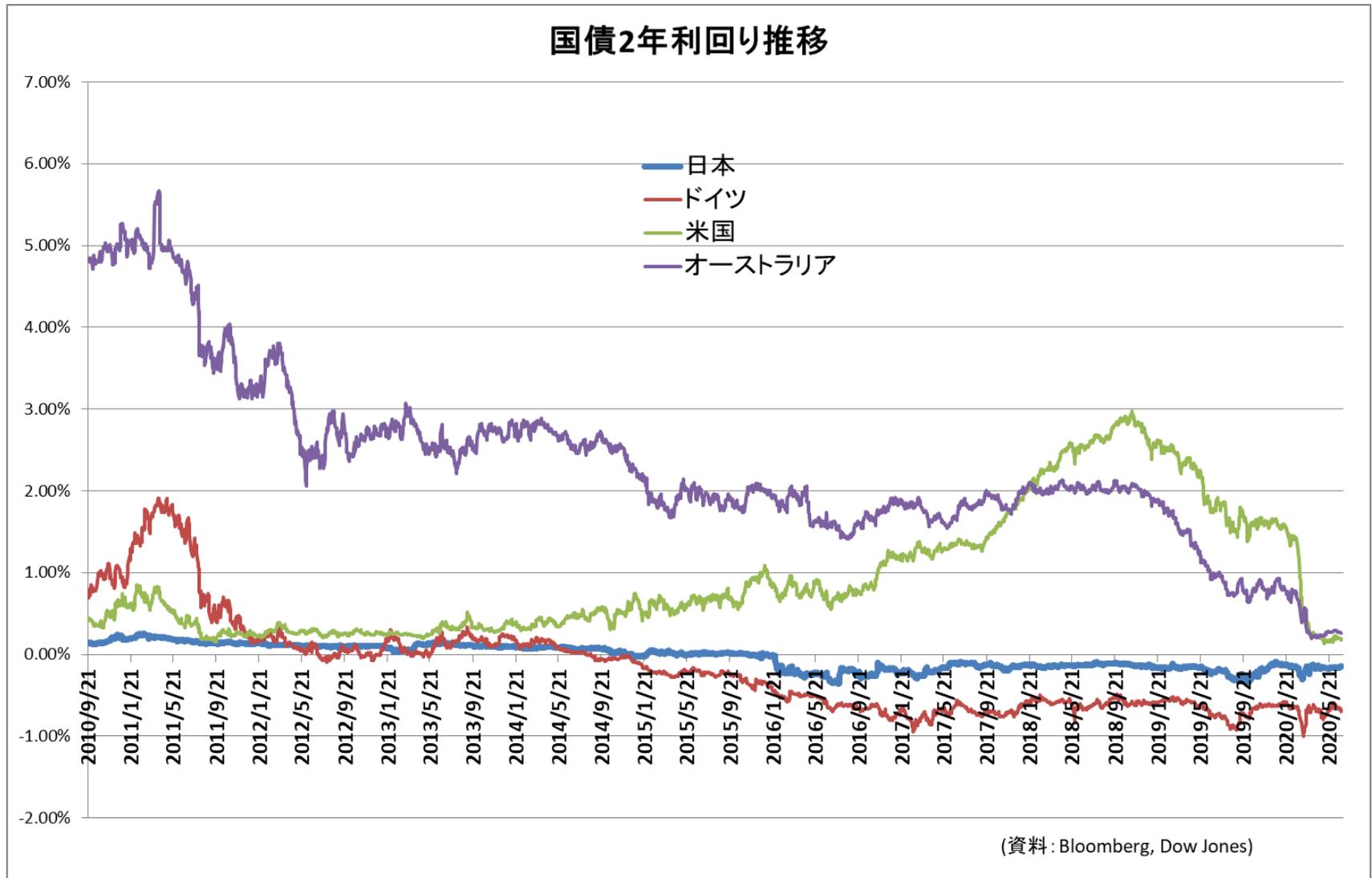
金利動向

---ウィルス要因でドル金利急低下---



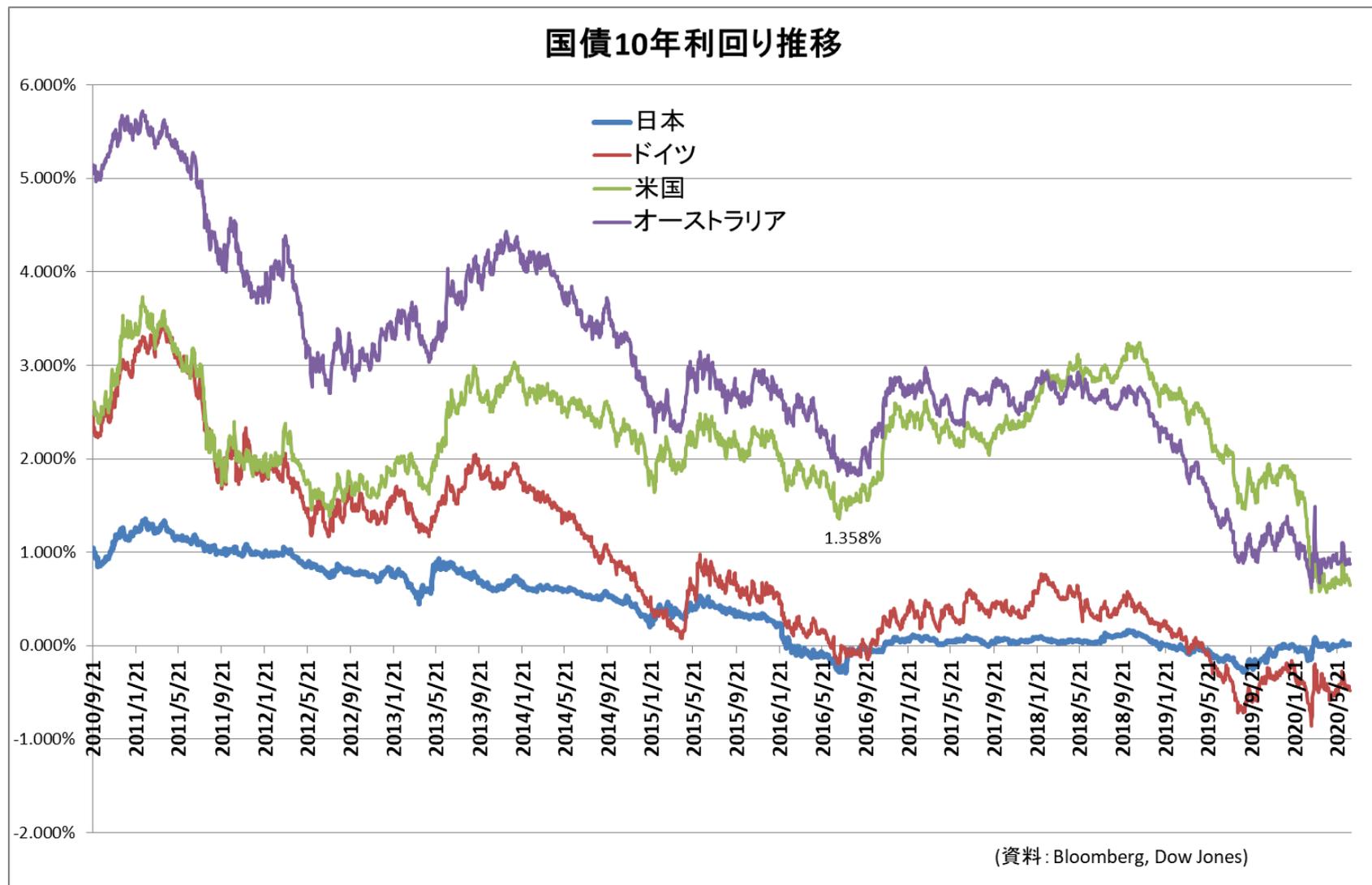
金利動向

---ウィルス要因で金利急低下---



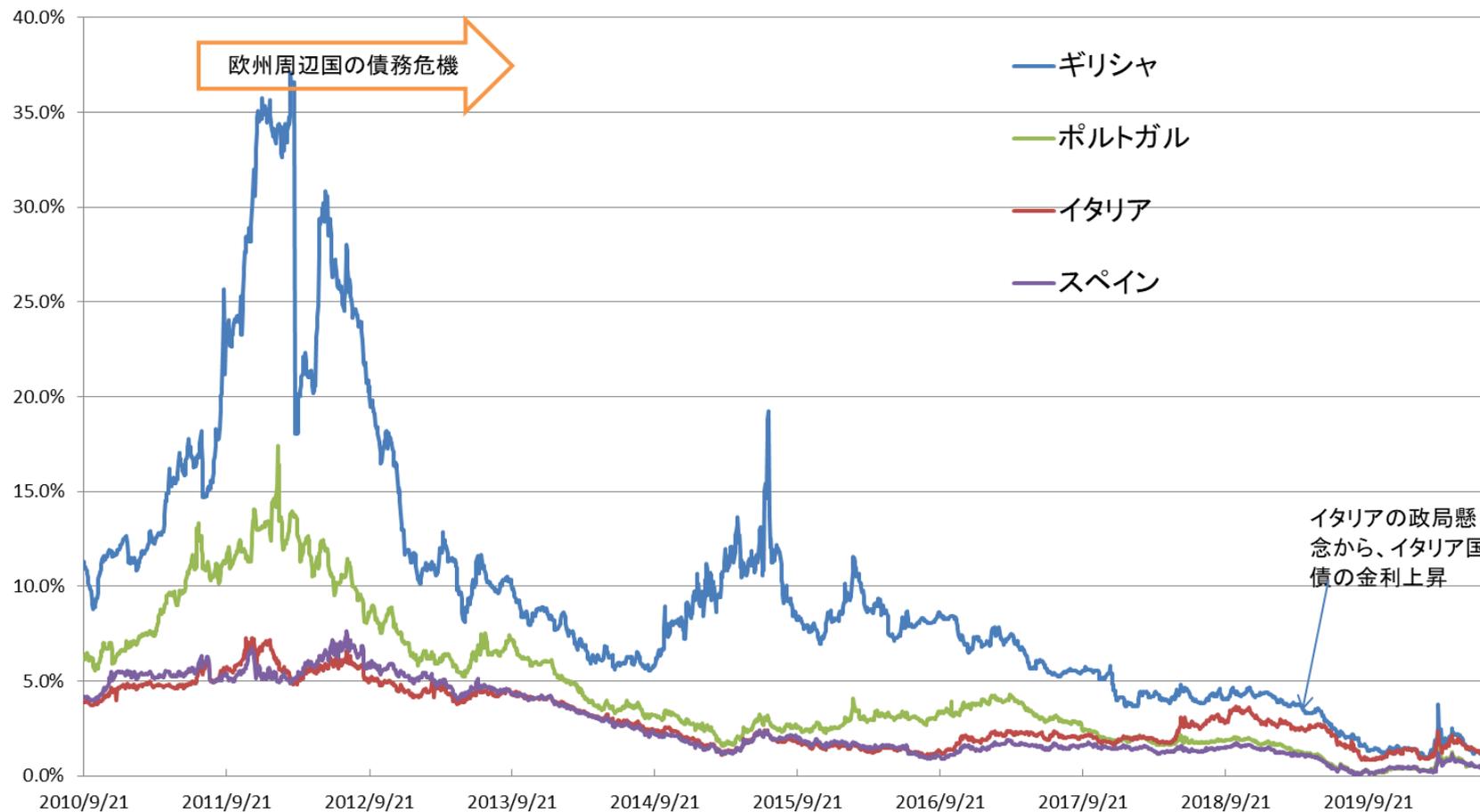
金利動向

---ウィルス要因で金利急低下---



金利動向

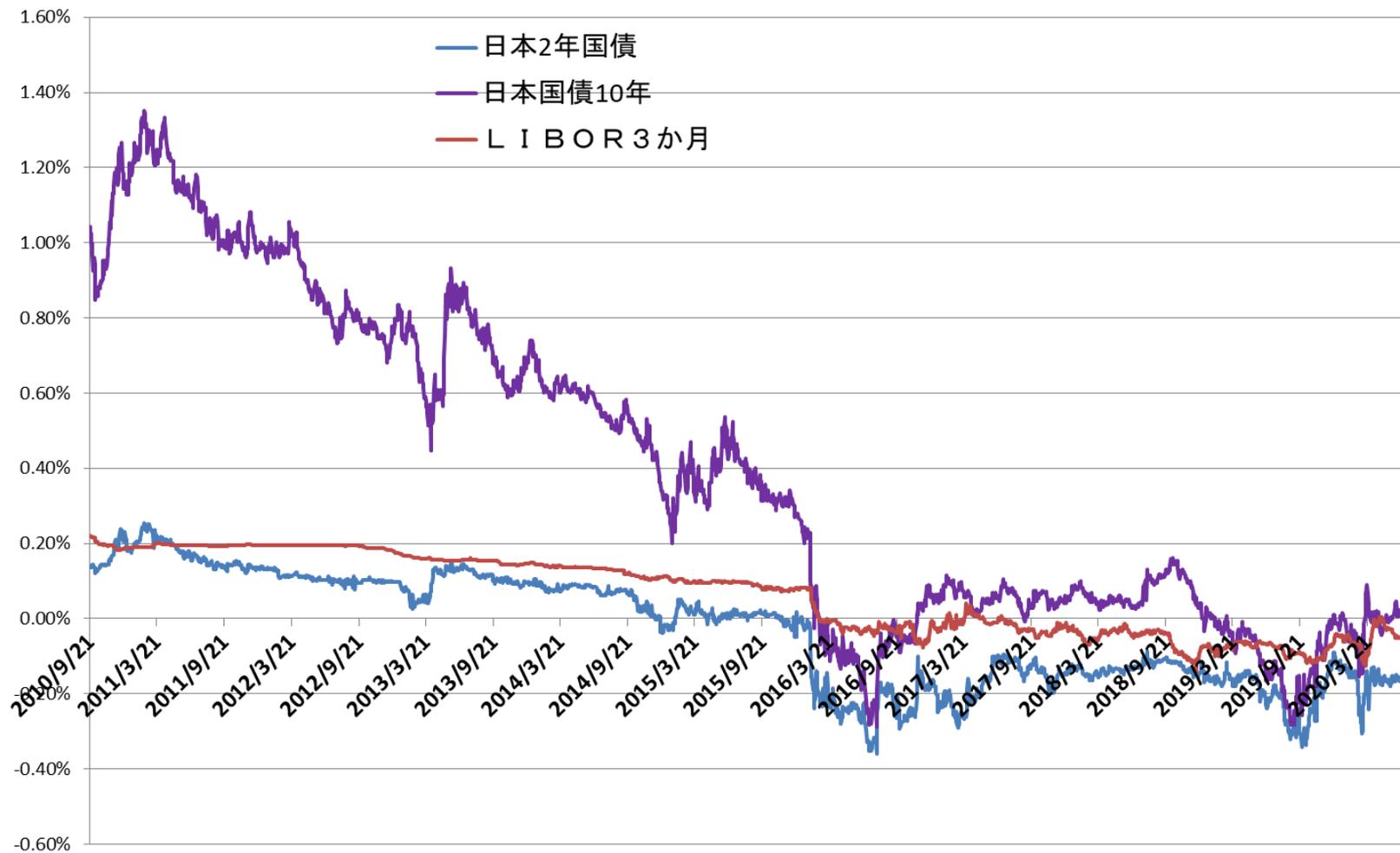
ユーロ圏周辺国10年国債利回り推移



(資料: Bloomberg, Dow Jones)

金利動向

日本国債利回り



(資料 : Bloomberg, Dow Jones)

DISCLAIMER

本レポートに含まれる情報は、予測に関するものを含め、本レポートの発行時点で、信頼に足ると考えられる資料及び情報源から取得したものです。当社は、それらの情報の正確性について疑うべき事由を認識してはおりませんが、それらの情報に関する検証を行ってはおらず、また、それらの情報について表明、保証等を行うものではありません。

本レポートの読者は、本レポートに含まれる情報の関連性、正確性及び完全性並びにそれらの情報が最新のものであるか否かについて、独自に評価する責任があります。

本レポートは、純粋な情報提供の目的でご提供するものであり、従って、有価証券若しくはその他の金融商品の売買若しくは取得の申し込み又はその誘因を目的とするものではありません。

当社は、何人に対しても、本レポートに含まれる情報を使用し、またはそれらの情報に依拠したことにより生じた損失、損害、費用及び経費について、一切責任を負いません。